

第4次那覇市男女共同参画計画

(なは男女平等推進プラン)

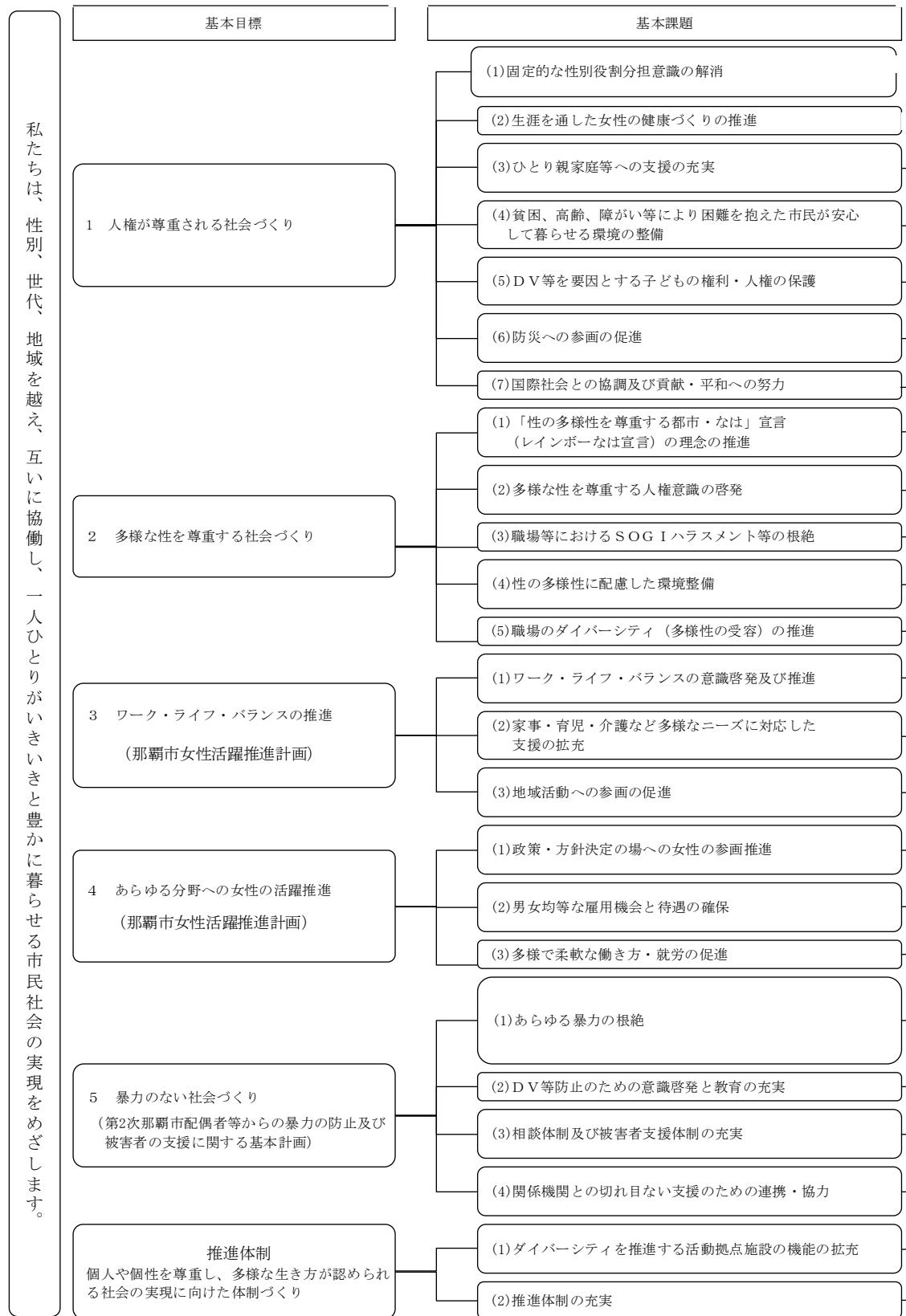
(那覇市女性活躍推進計画)

(第二次那覇市配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援に関する基本計画)

令和4年度事業進捗状況

○本文中に掲示されているページは、第4次那覇市男女共同参画計画の該当ページを示しています。

(1) 施策体系図 (22頁) 事業の方策は省略しています



私たちは、性別、世代、地域を越え、互いに協働し、一人ひとりがいきいきと豊かに暮らせる市民社会の実現をめざします。

(2)担当課一覧 (部・課別対応施策件数) (21頁)

部名	課名	件数	具体的施策
総務部	秘書広報課	4	4・8・81・155
	平和交流・男女参画課 (なは女性センター)	73	1・3・5・7・9・10・11・13・22・24・54・57・66・76・77・79・80・82・83・84・85・ 86・87・88・89・90・91・95・97・98・99・102・104・107・113・114・115・118・ 130・144・147・149・152・153・154・156・157・158・161・169・170・171・ 172・176・178・183・185・187・188・190・192・194・198・199・202・204・ 220・227・233・234・235・237・238
	人事課	12	12・75・78・92・101・109・116・119・148・189・203・236
	管財課	1	110
	法制契約課	2	62・168
	防災危機管理課	2	71・72
企画財務部	企画調整課	1	2
市民文化部	市民生活安全課	3	174・175・232
	まちづくり協働推進課	5	21・139・140・143・222
	ハイサイ市民課	3	173・209・213
経済観光部	商工農水課	11	23・38・100・103・108・117・150・159・160・162・215
環境部	環境政策課	1	146
福祉部	福祉政策課	2	132・221
	福祉政策課(総合福祉センタ ー)	1	166
	障がい福祉課	10	50・56・60・61・124・133・167・182・208・230・
	ちゃーがんじゅう課	15	17・33・55・59・128・129・131・134・135・136・163・164・181・207・231
	保護管理課	8	40・58・177・195・200・206・212・228
健康部	国民健康保険課	1	214
	特定健診課	1	32
	健康増進課	3	28・31・142
	地域保健課	6	16・26・29・49・121・126
	保健総務課	2	25・48
こどもみらい部	こども政策課	3	44・63・125
	こどもみらい課	7	15・45・47・123・138・197・216
	こども教育保育課	3	64・137・165
	こども教育保育課 (こども発達支援センター)	1	127
	子育て応援課	21	34・35・36・37・39・41・43・46・52・65・122・179・180・191・196・201・205・ 211・223・226・229
都市みらい部	都市計画課	1	145
まちなみ共創 部	建築工事課	1	111
	市営住宅課	3	42・51・210
生涯学習部	生涯学習課	2	53・141
	施設課	1	112
	公民館	4	6・14・30・67
	図書館	1	151
学校教育部	学校教育課	17	18・19・20・27・68・69・70・93・94・96・105・184・186・193・218・224・225
	教育相談課	2	120・219
	学務課	1	217
	教育研究所	1	106
消防局	消防局警防課	1	73
	消防局総務課	1	74
	総計	238	再掲含むと 254

(3) 計画関連指標達成状況 (90~91頁)

最新値

番号	評価指標	策定当初	2019	2020	R4/3/31時点	目標値		担当課
		2017 (H29) 年度	(R1) 年度	(R2) 年度	2021 (R3) 年度	5年後 2023 (R5)	10年後 2028 (R10)	
基本目標1 人権が尊重される社会づくり								
1	夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方に「反対」・「どちらかというと反対」する市民の割合	54.4%	—	—	—	60%	75%	平和交流・男女参画課
2	社会全体でみた場合、「男性の方が優遇（どちらかというと優遇）されている」と思う市民の割合	68%	(参考) H30 市民意識 調査 65.0%	—	R3市民意識 調査 61.9%	30%	20%	平和交流・男女参画課
3	性の多様性に関する取組に「賛成」・「どちらかというと賛成」する市民の割合	80.1%	(参考) H30 市民意識 調査 80.1%	—	R3市民意識 調査 80.6%	85%	90%	平和交流・男女参画課
4	なは女性センター講座の延べ受講者数	24,961人	26,742人	26,883人	27,002人	29,160人	32,160人	平和交流・男女参画課
5	なは女性センター主催講座への男性の参加率	12%	6.6%	8.9%	12.6%	20%	30%	平和交流・男女参画課
6	公民館講座への男性の参加率	24.2%	—	25.9%	25.3%	30%	35%	公民館
7	消防団員に占める女性の数	12人	—	10人	10人	15人	18人	消防局
8	消防吏員に占める女性の割合	2.6%	—	2.1%	2.4%	3.5%	5%	消防局
基本目標2 多様な性を尊重する社会づくり								
9	「性的指向・性自認」という言葉の市民認知度	27.4%	—	—	—	35%	50%	平和交流・男女参画課
10	「性の多様性の尊重」に関する職員研修の延べ受講者数	471人	685人	685人	685人	831人	1,131人	平和交流・男女参画課
基本目標3 ワーク・ライフ・バランスの推進								
11	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）という言葉の市民認知度	18.3%	—	—	—	30%	50%	平和交流・男女参画課
12	ポジティブ・アクション（積極的改善措置）に取り組んでいる市内事業者の割合	11.5%	—	—	—	20%	30%	平和交流・男女参画課

最新値

番号	評価指標	策定当初 2017 (H29) 年度	2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	R4/3/31時点 2021 (R3) 年度	目標値		担当課
						5年後 2023 (R5)	10年後 2028 (R10)	
13	那覇市男性職員の育児休業取得率	1.4%	—	20.8%	41.8%	7%	14%	人事課
14	那覇市男性職員の出産補助休暇取得率	90.1%	—	70.1%	80.6%	95%	100%	人事課
15	保育所等利用待機児童数	200人	—	153人	37人	0人	0人	こどもみらい課
16	介護予防リーダー養成講座における男性修了者の割合	33.3%	—	0.0%	25%	35%	40%	ちやーがんじゅう課
基本目標4 あらゆる分野への女性の活躍推進								
17	審議会等委員の女性登用率	35.3%	31.6%	30.7%	37.7%	39%	40%	平和交流・男女参画課
18	審議会等委員について、目標値（男女いずれか一方の委員の割合が40%未満にならないようにする）を達成した委員会の割合を増やす。	42.2%	46.3%	44.4%	52.1%	50%	60%	平和交流・男女参画課
19	女性ゼロの審議会等の解消を図る	8件	13件	7件	6件	0件	0件	平和交流・男女参画課
20	市職員の女性管理職（課長相当職以上）の割合	13%	16.5%	17.9%	17.9%	17%	20%	人事課
基本目標5 暴力のない社会づくり								
21	「DV等の相談窓口を知っている」と回答する市民の割合	43%	—	—	—	50%	60%	平和交流・男女参画課

※「—」アンケート調査未実施により、状況把握ができないもの
 ※2019年実績はコロナ感染症拡大の為、各課への進捗状況調査を中止した

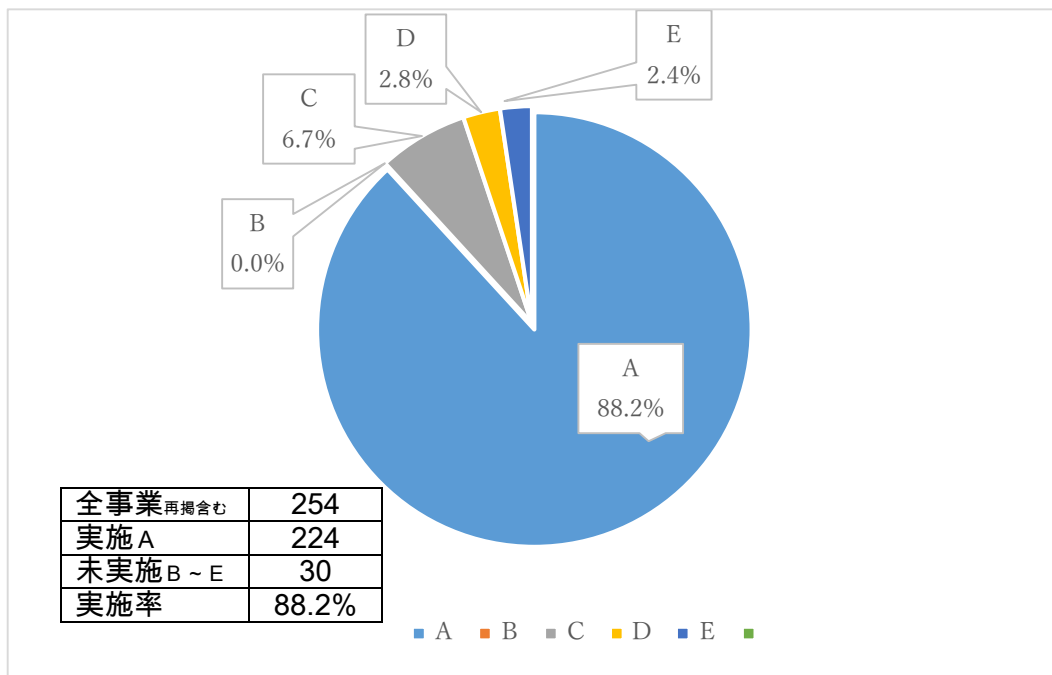
- ・指標番号2「社会全体でみた場合、男性の方が優遇（どちらかというと優遇）されていると思う市民の割合」は最新値61.9%と減少傾向にはあるが、目標値と大きく差が開いており達成見込みが低い状況となっている。
- ・指標番号13「那覇市男性職員の育児休業取得率」は最新値（令和3年度）では、41.8%となっており、前年度の数値（20.8%）を大きく上回った。すでに目標値を達成しているが、引き続き、働き方・意識改革を進め、男性が育児休業を取得しやすい職場環境づくりの促進に取り組んでいく必要がある。
- ・指標番号18「審議会等委員について目標値を達成した委員会の割合を増やす」については、策定時（平成29年度）42.2%であったが、最新値（令和3年度）では、52.1%となっており、目標達成に向けて順調に進んでいる。60%という目標を達成できるよう、継続して取り組んでいく必要がある。

(4) 令和4年度事業進捗状況 総括

令和4年度の「第4次那覇市男女共同参画計画」の事業実施状況における各担当課の評価については、A：「実施」が88.2%となり、ほとんどの事業で予定通り取組を実施できている。B～E評価となる未実施事業は30件あるが、うち21件が平和交流・男女参画課となっている。

平和交流・男女参画課は、具体的施策として80事業あり、様々な施策に取り組んできたが、令和4年度はパートナーシップ・ファミリーシップ登録制度の施行に向け重点的に取り組んだことが未実施事業が多くなった一つの要因としてあげられる。また、いくつかの事業については、取組み内容の見直しが必要と考えられるものがあった。今後、令和5年度の中間見直しにおいて、施策の検討や整理を進めていく。

基本目標1～5の全事業取組事業実施状況 (令和5年3月31日時点)



A：実施 B：未実施（実施に向けて準備中） C：未実施（実施不可）…予算や人員不足、所管外など
 D：未実施（評価不能）…事業完了・隔年実施など E：未実施（その他）…緊急業務の発生など

(5) 基本目標ごとの取組実績

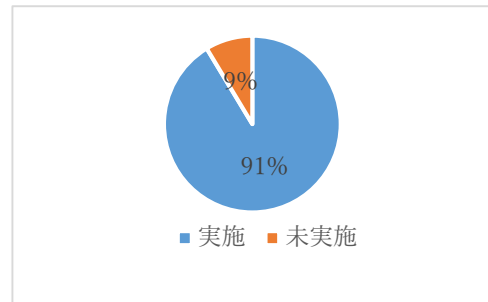
基本目標1 人権が尊重される社会づくり (24~41頁)

基本課題

(1) 固定的な性別役割分担意識の解消 (2) 生涯を通じた女性の健康づくりの推進
(3) ひとり親家庭等への支援の充実 (4) 貧困、高齢、障がい等により困難を抱えた市民が安心して暮らせる環境の整備 (5) DV等を要因とする子どもの権利・人権の保護 (6) 防災への参画の促進 (7) 国際社会との協調及び貢献・平和への努力

●取組事業実施状況 (令和5年3月31日時点)

総事業数	81
実施	74
未実施	7
実施率	91%



●主な取組実績

課題 (1) 固定的な性別役割分担意識の解消

- ・子育てにおけるパートナー間の協働意識の促進として、親子健康手帳交付時にパートナーのサポート体制を確認したり、パートナーが来所時は出産・育児への理解、サポートすること等の保健指導を実施した (対面相談、電話相談)。【地域保健課】
- ・令和4年4月から改正育児・介護休業法が段階的に施行されることに伴い、11月2日 (水) 講座「男性育休トークイベント」を開催した。【平和交流・男女参画課】
- ・職場における男女平等意識の高揚として、「不妊治療と仕事との両立サポートハンドブック」、「不妊治療を受けながら働き続けられる職場づくりのためのマニュアル」の窓口配布、公式HPでの周知を行った。【商工農水課】

課題 (2) 生涯を通じた女性の健康づくりの推進

- ・リプロダクティブ・ヘルス・ライツ (性と生殖に関する健康と権利) の意識の浸透として、センター講座「大人のための生と性」(7/2)、「女性のための心とからだセミナー」(2/10・3/3)を開催した。【平和交流・男女参画課】
- ・妊娠・出産・子育て期における健康支援として、子育て支援センター等市内9施設において年間18回の出前相談を実施した。その他随時個別相談にも対応した (電話124件・来所8件・オンライン3件※令和4年12月末時点)。【健康増進課】
- ・保護者の育児不安の解消を図るため、乳幼児学級：「百人百様の子育て!ら・ら・

ら♪」「私のBABY STEP!」「ぽっかぽからんど〜ママ&ベビーリフレッシュ講座 (Zoom)」「ぽっかぽからんど〜親子でリフレッシュ講座「にゅうじランド」等を開催した。【公民館】

課題 (3) ひとり親家庭等への支援の充実

- ・支援が必要な家庭の子どもに対し、居場所型学習支援事業いわゆる無料塾を実施し、安心して過ごし、学ぶことのできる場の提供を行い、自立に向けた意欲喚起や学習意欲等の向上を図った。【保護管理課】
- ・成績が優秀で就学する意欲があるにもかかわらず、経済的な理由で県内大学等への進学が困難なものに対し、給付型奨学金候補者を15名決定した。【生涯学習課】

課題 (4) 貧困、高齢、障がい等により困難を抱えた市民が安心して暮らせる環境の整備

- ・障がい者の就職支援、職場定着支援を図るため、ジョブサポーターを派遣及びジョブサポーター養成研修講座を実施した。【障がい福祉課】
- ・12/3～12/9の障害者週間にあわせて、「障害者差別解消法」の周知等を行うために、庁内モニター・市公式ホームページ・「広報なは市民の友12月号」への掲載、庁内ロビーにて権利擁護に関するパンフレットを設置した。【障がい福祉課】

課題 (5) DV等を要因とする子どもの権利・人権の保護

- ・子どもの権利・人権を尊重する社会づくりとして、人権擁護関係機関等と本市の関係課を構成員とする「那覇市こどものみらい応援プロジェクトネットワーク会議」を立ち上げ意見交換を開始した。【子ども政策課】
- ・子どもの権利や人権についての理解を深めるため、6月11日(土)講座「ヤングケアラー」開催。【平和交流・男女参画課】
- ・子どもの権利や人権に関する普及啓発として、子どもの権利条約フォーラム2022in那覇/沖縄 前夜祭 映画上映会&トークイベントを実施した。【公民館】
- ・制服選択制を推奨しており、現在、市内17校のうち12校が申請なしで制服選択が可能としている。【学校教育課】

課題 (6) 防災への参画の促進

- ・防災に関する政策・方針決定過程への女性の参画として、市防災会議において、今年度の委嘱は、委員、幹事合わせて68名のうち、6名が女性となっている。【防災危機管理課】
- ・災害時における、女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人、多様な性を生きる人への支援体制の確立として、多文化ネットワーク交流会や女性防火クラブ等に対して、防災講話を実施した。【防災危機管理課】

課題 (7) 国際社会との協調及び貢献・平和への努力

- ・戦争体験を風化させないよう平和の実現に向けた学びとして、12月10日（土）講座「今！憲法9条・24条・25条を考える」開催した。【平和交流・男女参画課】

●評価

人権が尊重される社会づくりで掲げられた事業の進捗状況は、実施率91%となっており、概ね予定通りに取組んでいる。

引き続き、なは女性センターも含め、全庁的な組織体制づくりと、相互連携の強化に努める。

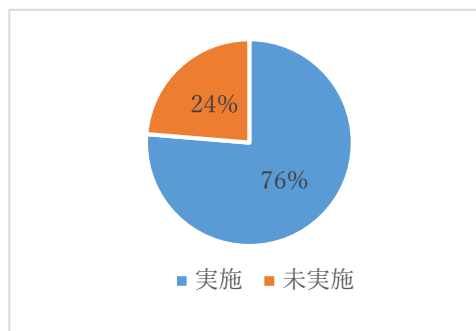
基本目標2 多様な性を尊重する社会づくり (42～55頁)

基本課題

(1) 「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言（レインボーなは宣言）の理念の推進
(2) 多様な性を尊重する人権意識の啓発 (3) 職場等におけるSOGIハラスメント等の根絶 (4) 性の多様性に配慮した環境整備 (5) 職場のダイバーシティ（多様性の受容）の推進

●取組事業実施状況（令和5年3月31日時点）

総事業数	38
実施	29
未実施	9
実施率	76%



●主な取組実績

課題 (1) 「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言（レインボーなは宣言）の理念の推進

- ・性のあり方は人権として尊重されるという本市の姿勢を広く市民へ周知し、理解を深めてもらえるよう、令和4年11月開催のプライドイベント「ピンクドット沖縄2022」を共催し、市の公式SNSで広報した。

【平和交流・男女参画課/秘書広報課】

- ・平成28年から始まった那覇市パートナーシップ登録制度に、同居するパートナーの近親者も「家族」として登録する「ファミリーシップ登録」を令和4年10月より拡充した。【平和交流・男女参画課】

課題 (2) 多様な性を尊重する人権意識の啓発

- ・ 3月18日（土）にセンター講座「性の多様性と人権」～ありのままの自分を生きる～を開催し、LGBTQ+等の基礎知識や市民としてできることについての周知・啓発を行った。【平和交流・男女参画課】
- ・ 市職員として、人権尊重の意識を持って市民サービスに取り組み、多様な性についての理解を深めることを目的に、3月10日（金）に職員研修「対応力向上のための性の多様性研修」を実施した。【平和交流・男女参画課】
- ・ 教職員の理解を深めるため、夏季休業中に「LGBT等研修会」を実施して学校現場の意識啓発を行った。【学校教育課】
- ・ 性の多様性の尊重に取り組む市民団体の支援として、レインボー交流会（主催：市民団体ていーだあみ）の開催を広報等で支援した。【平和交流・男女参画課】

課題 (3) 職場等におけるSOGIハラスメント等の根絶

- ・ 学校におけるSOGIハラスメント防止のための体制整備のため、各学校および教育委員会にハラスメントの相談員を設置し対応した。【学校教育課】
- ・ 中堅教諭に対し、LGBTQについての研修を実施し、性の多様性への偏見・差別に配慮した人権教育・意識啓発についての情報提供を行った。【教育研究所】
- ・ 庁内におけるSOGIハラスメントの防止のため、各種ハラスメントに対する相談体制を整備し通知した。【人事課】

課題 (4) 性の多様性に配慮した環境整備

- ・ 本庁舎内の多目的トイレの表記を、性の多様性にも留意したバリアフリートイレとして分かりやすく親しみを込めて「ちむぐるトイレ」のネーミングへ変更し周知を図った。【管財課】

課題 (5) 職場のダイバーシティ（多様性の受容）の推進

- ・ 令和4年10月開始の「ファミリーシップ登録」について、広く市民や事業者等へ周知を図るため、市長記者会見において発表を行った。【平和交流・男女参画課】
- ・ LGBTQフレンドリー企業が行っている先進的な取組の情報提供として、なは女性センターだよりやnote等により、フレンドリー企業の経営者へのインタビュー記事を掲載した。【平和交流・男女参画課】

●評価

多様な性を尊重する社会づくりで掲げられた事業の進捗状況は、実施率76%となっており、概ね順調に取り組んでいる。

主な課題としては、市内事業者等への情報提供・周知の取組が十分でなかったことが挙げられる。

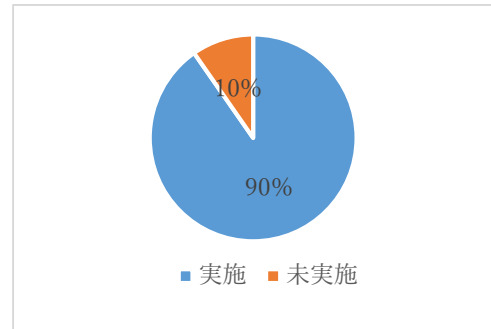
今後は、効果的な情報提供や施策の推進方法を検討することが必要と考える。

基本課題

(1) ワーク・ライフ・バランスの意識啓発及び推進 (2) 家事・育児・介護など多様なニーズに対応した支援の拡充 (3) 地域活動への参画の促進

●取組事業実施状況 (令和5年3月31日時点)

総事業数	31
実施	28
未実施	3
実施率	90%



●主な取組実績

課題 (1) ワーク・ライフ・バランスの意識啓発及び推進

- ・ ポジティブ・アクション (積極的改善措置) の推進に向けた意識啓発として、11月2日 (水) 講座「男性育休トークイベント」及び労働局職員による制度説明を行った。【平和交流・男女参画課】
- ・ 女性の活躍推進に向けた、企業の取組推進として、「育児・介護休業法改正」について市民の友1月号、公式HP、公式SNSで周知を行った。【商工農水課】
- ・ 市職員の育児・介護休業制度の活用の促進として、子育てと仕事の両立支援ハンドブック (制度編) 、 (Q & A 編) として改定し、通知した。【人事課】

課題 (2) 家事・育児・介護など多様なニーズに対応した支援の拡充

- ・ 子育て支援のための育児相談、保育相談等の充実として、心理士による個別の子育て相談 (発達相談) を実施 (予約制) 、令和4年度4月～12月は月2～3回実施した。【地域保健課】
- ・ 育児支援家庭訪問事業において、養育について不安や課題を抱える子育て世帯へ支援員が訪問し、家庭内での育児に関する具体的な援助、技術指導及び相談指導により、保護者の子育てに関する悩みについて支援を実施している。令和4年度訪問実績 (8月末時点) 680件。【子育て応援課】
- ・ 社会環境の変化の中で様々な保育要望に対応するため、日常的に介護をしている家族の一時休息のための日中一時支援事業を実施した。本年度11月末時点において、102人が利用した。【障がい福祉課】
- ・ 高齢者が要介護状態となっても、可能な限り住み慣れた自宅または地域で生活を継続できるよう、R4.7.16～7.17の期間、令和4年度 (令和5年度整備分) 那覇市地域密着型サービス事業者等公募を実施し、その結果、グループホーム4ユニット、地域密

着型特別養護老人ホーム1事業所、定期巡回・随時対応型訪問介護看護2事業所、地域密着型特定施設入居者生活介護1事業所を選定した。【ちゃーがんじゅう課】

- ・認可外保育施設の実態を把握し支援するため、認可外保育全施設への立ち入り調査を行い、指導助言を行うとともに、職員の資質向上を図るため、各種研修を実施した。【こども教育保育課】
- ・認可外保育施設を支援し、児童が安全に健やかに過ごせるように、認可外保育施設に登園する児童の健康診断（内科・歯科）、給食費、認可外保育施設への賠償責任保険料、調理員の検便実施に係る助成した。【こどもみらい課】

課題（3）地域活動への参画の促進

- ・市民活動・生涯学習の場における、那覇市、関係団体、NPOなどが行う、地域活動を担うリーダーの育成事業として、なは市民活動支援センター講座、なは市民協働大学、なは市民協働大学院を実施した。【まちづくり協働推進課】
- ・食生活改善推進員として34人が登録し、健康料理教室2回、食生活展10回実施した。【健康増進課】
- ・性別を問わず、まちづくりに関する活動をしている市民を登録し、人材データバンク事業として、10代から70代及び市内外の幅広いボランティア人材が登録、ボランティアを求める団体とのマッチングを実施した。【まちづくり協働推進課】

●評価

ワーク・ライフ・バランスの推進で掲げられた事業の進捗状況は、実施率90%で、概ね順調に取り組んでいる。

働く女性に限らず、男性も含め、家事・育児・介護を担うための社会意識の醸成や職場環境づくりは重要であることから、男性向け意識啓発としての講座等の取組みも必要である。

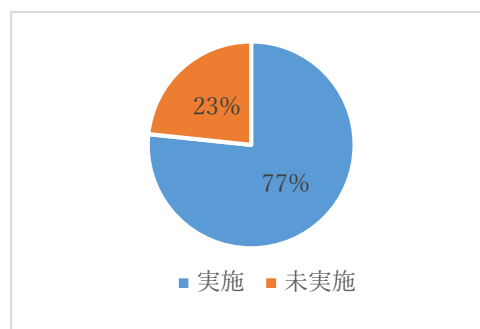
基本目標4 あらゆる分野への女性の活躍推進 (64~72頁)

基本課題

- (1) 政策・方針決定の場への女性の参画推進 (2) 男女均等な雇用機会と待遇の確保
(3) 多様で柔軟な働き方・就労の促進

●取組事業実施状況 (令和5年3月31日時点)

総事業数	30
実施	23
未実施	7
実施率	77%



●主な取組実績

課題 (1) 政策・方針決定の場への女性の参画推進

- ・那覇市審議会等委員への女性登用促進の取組として、充て職にとらわれない委員選定を行うよう全課へ依頼した。【平和交流・男女参画課】
- ・市女性職員の政策決定過程への参画を促進するため、県外派遣研修（女性リーダーのためのマネジメント研修）へ1人派遣した。【人事課】

課題 (2) 男女均等な雇用機会と待遇の確保

- ・なはし創業・就職サポートセンターにおいて、女性が、出産や育児などで一時的に就労の場を離れていても、再就職を望む場合に就労支援や技術習得のための講座の実施、また、起業に対しての情報提供や講座等を実施した。【商工農水課】
- ・生徒・学生への生涯設計、男女共同参画の理念に基づく所業意識の啓発として、小中学生374名にキャリア教育を実施した。【商工農水課】
内訳: 起業家育成プログラム 185名(小学生)、産業教育プログラム 189名(中学生)

課題 (3) 多様で柔軟な働き方・就労の促進

- ・障がい者の就職支援、職場定着支援を図るため、ジョブサポーターを派遣及びジョブサポーター養成研修講座を実施した。【障がい福祉課】
- ・先進的な取組を行っている企業の支援として、総合評価方式による入札において、女性及び若手技術者を配置予定の事業者へ技術評価点の加点を6件実施した。【法制契約課】

●評価

あらゆる分野への女性の活躍推進で掲げられた事業の進捗状況は、実施率77%となっており概ね順調に取り組んでいる。

企業内での取組の推進を図ることが企業や社会における意識の改革につながることから、関係部署と連携しながら市内事業所への啓発を実施していく必要がある、

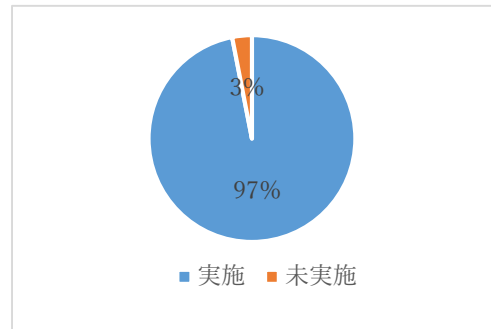
基本目標5 暴力のない社会づくり (73~84頁)

基本課題

(1) あらゆる暴力の根絶 (2) DV等防止のための意識啓発と教育の充実
(3) 相談体制及び被害者支援体制の充実 (4) 関係機関と切れ目ない支援のための連携・協力

●取組事業実施状況 (令和5年3月31日時点)

総事業数	65
実施	63
未実施	2
実施率	97%



●主な取組実績

課題 (1) あらゆる暴力の根絶

- ・DVや性暴力、ハラスメント等のあらゆる暴力が人権侵害であることについて、市民の理解を深め、意識を高めるため、10月29日(土)「殴る・蹴るだけがDVじゃない～ガスライティング(心理的虐待)を考える～」講座を開催した。【平和交流・男女参画課】
- ・児童虐待の早期発見のための周知啓発として、本庁舎でのパネル展示、市民の友やHPへの掲載。また、適切な支援体制の確立として、関係機関(学校、保育園、民生委員等)を対象に虐待防止に関する講義を実施し、連携の必要性について周知を図った。【子育て応援課】
- ・障がいがある人への虐待防止のため、緊急一時保護を実施することができる事業所の確保及び受入れ対応を実施した。【障がい福祉課】

課題 (2) DV等防止のための意識啓発と教育の充実

- ・若年層等へのあらゆる暴力の根絶を図るための意識啓発や自尊心・自己肯定感を高める取組として、市内全中学校を対象に「思春期の心とからだプログラム」を実施した。【平和交流・男女参画課】

- ・市内の全小中学校において人権教育の全体計画を作成し、いじめや性の多様性、男女平等等について考える機会を計画的かつ継続的に設け、人権意識の向上に努めている。【学校教育課】

課題（3）相談体制及び被害者支援体制の充実

- ・被害者が速やかに安心して支援が受けられるよう関係機関と連携し、のべ514件対応した。うち、子育て支援室208件、保護管理課女性相談室18件、地域保健課99件【こどもみらい課】
- ・児童虐待支援において、DVが絡むケースについて、要対協個別支援会議等を実施し、保護を視野に入れた対応連携について女性相談員等と役割分担等連携を図った。【子育て応援課】
- ・DV被害者保護に係る子どもの安全確保・支援の実施として、関連部署と連携し、所定機関からの入所要請に対応し、最優先での入所措置を実施した。【こどもみらい課】
- ・不登校等の様々な悩みを持つ、児童・生徒、保護者、教職員向けの相談室「はりゆん」による来所相談、電話相談を行っている。【教育相談課】

課題（4）関係機関との切れ目ない支援のための連携・協力

- ・地域の支援者、支援機関との連携強化として、避難行動要支援者名簿を作成し、民生委員や自治会などの避難支援等関係者からの申請に基づき名簿情報の提供し、見守り活動に活用している。【福祉政策課】
- ・庁外関係機関との連携・協力体制の強化として、要保護児童対策地域協議会の実務者会議を開催し（年3回）、児童虐待防止に関する課題や連携について意見交換を実施した【子育て応援課】。

●評価

暴力のない社会づくりで掲げられた事業の進捗状況は、実施率97%となっており、予定通りに取組んでいる。

引き続き、庁内外の関係機関と連携しながらあらゆる暴力防止と被害者支援に取り組む。

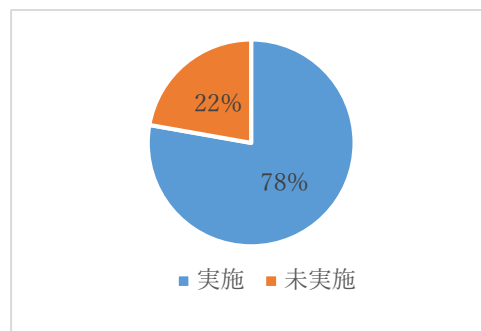
推進体制 (85～88頁)

基本課題

- (1) ダイバーシティを推進する活動拠点施設の機能の充実
- (2) 推進体制の充実

●取組事業実施状況 (令和5年3月31日時点)

総事業数	9
実施	7
未実施	2
実施率	78%



●主な取組実績

課題 (2) 推進体制の充実

- ・市職員の男女共同参画の意識啓発として、新採用職員前期・後期研修（接遇講座、男女共同参画、両立支援制度）を実施した。【人事課】
- ・国・県・関係機関との連携のため、男女共同参画センター等関係者連絡会議や市町村男女共同参画行政主管課長会議へ参加した。【平和交流・男女参画課】

●評価

個人や個性を尊重し、多様な生き方が認められる社会の実現に向けた体制づくりで掲げられた事業の進捗状況は、実施率78%となっており、概ね順調に取り組んでいる。

今後は、ダイバーシティに関する市民向け講座を企画し情報提供・周知に取り組んでいく必要がある。